

TOKYO 2020



Paralympic Games

2020 TOKYO 東京パラリンピックで
リスのレーンロープが使われました。

バイオマス
プラスチック
30% 配合

知っていましたか？

実は、日本の「レーンロープ」のほとんどに
「**バイオマスプラスチック**」が入っています。
(リスのレーンロープは、※国内シェア約90%)
※自社調べ

2021 日本選手権水泳競技大会・2022 日本選手権水泳競技大会・2023 日本選手権水泳競技大会で
リスのレーンロープが使われました。



記録を追求するスイマーが求める「感覚値」と培った「消波技術」が融合。
スピードが乗りやすい「水の重さ」と優れた「消波」を両立したレーンロープ。

競技用レーンロープ
FLATWAVE 150C (フラットウェーブ)

バイオマスプラスチック 30%使用
日本水泳連盟公認
日本バイオプラスチック協会認定品



監修 平井 伯昌 氏

東京五輪競泳日本代表ヘッドコーチ。
1963年生まれ、東京都出身。早稲田大学社会科学部卒。
1986年に東京スイミングセンター入社。
2013年から東洋大学水泳部監督。同大学法学部教授。

